

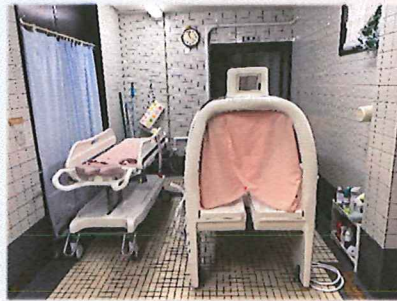
# 竹とんぼの特殊浴槽が新しくなりました！



2024 年 8 月末に公益財団法人 JKA 様の「2024 年度 福祉機器の整備 補助事業」の補助を受けまして、ハイツ竹とんぼの特殊浴槽が新しくなりました。

今回導入した浴槽は、シャワー式の入浴装置です。内部のノズルからきめ細かいミストシャワーで全身を温め、高い保温性と心地よい刺激感を伴う快適なシャワー入浴をして頂いています。また、お湯を貯める必要がなく一人当たりの入浴時間が短縮され、入浴回数を増やすことができました。介助者の負担軽減にもなっています。

最新の機器を活用し、利用者・介助者両者にとってより良い環境で入浴して頂けるようになりました。大切に使用していきたいと思えます。(阿部)



## 後援会事務局より

これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

乙訓福祉会後援会は、乙訓福祉会の行う事業や活動について積極的な支援を行うとともに、広く地域の方々に理解と協力を求め、在宅障がい者の福祉の増進に寄与することを目的として活動を行っています。

### 郵便振替口座

01080-2-52044

- ・個人会員 年会費 1口 1,000円 (1口以上)
- ・団体会員 年会費 1口 3,000円 (1口以上)
- ・賛助会員 随時

### 《編集人》

乙訓福祉会 後援会 〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺長黒 1-3 乙訓福祉会気付

### 《編集協力》

一地域のまんなかで障がいのある方々と共に一 社会福祉法人 乙訓福祉会

〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺長黒 1-3 [本部] TEL (075)952-0888 FAX (075)952-0889

ホームページ <http://www.otokunifukushikai.com/E> メール [otokuni-fukusikai@k4.dion.ne.jp](mailto:otokuni-fukusikai@k4.dion.ne.jp)

乙訓の里 (生活介護一主: 身体)

乙訓楽苑 (生活介護一主: 知的)

ハイツ竹とんぼ (福祉ホーム一主: 身体)

ハイツさくら (共同生活援助一主: 知的)

ハイツまんてん (共同生活援助一主: 知的)

乙訓福祉会・ライフサポート事業所

▽居宅介護等事業所 ▽研修室

相談支援室 のこのこ

放課後等デイサービス事業所 ばく

一九九一年九月三日 発行人 第三種郵便物承認 毎月(一、二、三、五、六、八の日) 発行 東興ビル五〇階 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一



# KSKQ 乙訓福祉会だより

2025.1 新春御挨拶号 No. 61

## 新しい年に向かって



新年あけましておめでとうございます。

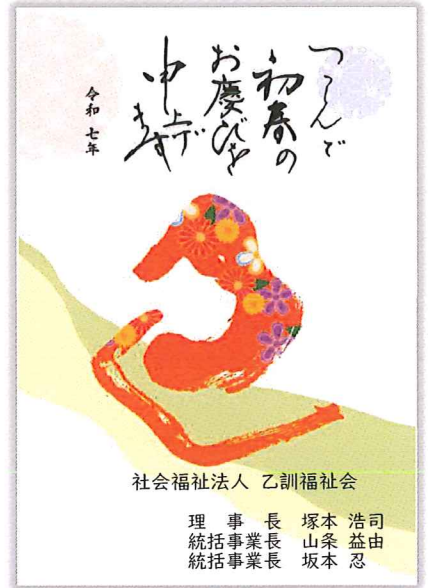
旧年中は利用者やご家族、評議員・理事・監事の皆様をはじめ、後援会・ボランティア・地域住民や行政関係者のお力添えにより、つつがなく法人運営できましたこと厚く御礼申し上げます。

千支は「辰」から「巳」へとバトンタッチされました。脱皮して成長するへびのイメージから巳年は「新しいことが始まる年」ともいわれているようですが、令和7年の巳年は、本会の生活介護事業所「乙訓楽苑」の新しい施設(鉄筋コンクリート造・2階建)が、西山天王山駅の近くに誕生する年となります。

現在、建築を担う山下建設さま、設計・施工監理を担うゆう建築設計さまと本会の三者が力を合わせて新施設の完成に向けて邁進(次頁に現場写真)している最中です。

遅くとも新緑の頃には、それこそ“地域のまんなか”で快適な生活空間を提供できるものと考えており、新しい施設で笑顔あふれる利用者の皆さんの姿を思い浮かべながら、日々の業務に取り組んでいるところです。

本年は、この乙訓楽苑の新施設建設・移転に加えまして、移転後には現施設の解体撤去工事が控えておりますので、それらに係る諸々の業務を中心に注力することとなりますが、法人が運営するすべての障害福祉サービスについて役員・職員が力を合わせて精力的に取り組んでまいり所存ですので、皆様には倍旧のご支援・ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人 乙訓福祉会

理事長 塚本 浩司  
統括事業長 山条 益由  
統括事業長 坂本 忍

## 社会福祉法人乙訓福祉会 運営理念

- 1 利用者ひとりひとりの人格を尊重し、個性・特性・能力を大切にしながら、乙訓福祉会の各機関の特色を生かし、あらゆる障がいのある方の「生きる力」の獲得をめざします。
- 2 ノーマライゼーションの理念に基づき、地域の方々や団体等と協調しながら「共に働き、共に暮らす」地域福祉の実践をめざします。





【掘削工事開始】



【捨てコン打設作業】



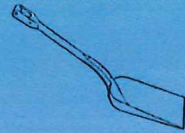
【1F スラブコンクリート打設作業】



【10月下旬：2F スラブ型枠張り】



### 乙訓楽苑新施設建設現場より



9月初旬より基礎工事に着手し、10月中旬からは上部構造の躯体工事に取り掛かりました。幸いにも、今年関西では大きな自然災害や工事の中断を余儀なくされるような長雨等にも遭うことがなく、工程表どおり工事は順調に進んでいます。

また、現場打合せ定例会議を毎週火曜日の午後から実施していますが、工事着手後よりご近所の方から「ご苦勞様です」とお声掛けをいただいていますと現場監督さんからお聞きました。工事現場の周辺に住む方々からそのような挨拶を受けることは稀ですが、これも先に移転をした乙訓の里の利用者と職員らが、周辺地域の皆さま方と交流を深めてきたからであると、改めてありがたいことだと感謝しております。



日に日に新しい乙訓楽苑の施設の形が出来上がってきております。施工業者の皆さまも現場の監督・監理者と意思疎通を良好に図り、作業場も奇麗に保たれています。来春には、敷地内に二つの生活介護事業所が横並びに建つこととなりますが、私たちが新しい施設をきれいに維持することに努め、且つ有効に使用できるようこれから協議を重ねて参ります。



【9月上旬：基礎配筋完了】



【基礎コンクリート打設作業】



【1F 梁養生中】



【11月下旬：R階梁スラブ配筋完了】

